



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
 アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
 西日本区理事主題 「ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！」
 中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
 クラブ会長主題 「明日へ、ワイズライフを楽しもう！」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2017年3月号

—＜今月の聖句＞—

「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐みの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。」
 コロサイの信徒への手紙 第3章12節

名古屋グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2017年3月例会他ご案内

◎第一例会

と き：3月14日（火）
 時 間：19：00～
 ところ：南山YMCA
 卓 話：「小学生の子供たちの困難さ」
 講 師：岡崎 勝 氏
 （名古屋市植田東小学校非常勤教員）
 学校から見える家庭と題して、①子供たちの何が問題なのか？②親の困難さ ③幼稚園や保育園、学校の問題について語られます。
 お知り合い多数お誘いください。
 食事有ですので参加者は高田君に事前連絡願います。 ドライバー：高田君

◎第二例会

と き：3月28日（火）
 時 間：19：00～
 ところ：南山YMCA

◎第5回チャリティーウォーク

と き：3月11日（土）
 時 間：10：00～
 参加者は事前にボラセンに連絡のこと

◎次期会長主査研修会

と き：3月18日（土）～19日（日）
 時 間：13：00～
 ところ：新大阪チサンホテル

◎2016年度感謝会（リーダー卒業式）

と き：3月20日（祝月）
 時 間：16：00～
 ところ：南山YMCA
 会 費：3000円（一般）
 食事サービス支援行います。

◎神沢YMCAコンサート（クラブ支援）

と き：4月 1日（土）
 時 間：14：00～
 ところ：神沢ファミリーYMCA

2月例会	例 会 出 席 状 況	B F ポイント	クラブファンド（月）
在 席 者	14名 第 1 例 会 11名	当 月 ・ 切 手	ニコ BOX ノート
例会出席者	11名 第 2 例 会 8名	当 月 ・ 現 金	感 謝 ファンド
当月出席率	78.6% そ の 他 2名	累 計	累 計

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

第一例会レポート



日 時：2017年2月14日(火) 19:00～
場 所：南山YMCA
出 席：阿部、荒川、遠藤、坂口、信田、高田、
坂野、松原、三井、吉田
ゲスト：万福寺、東田



2017年度 名古屋YMCA事業方針について

第一例会ドライバー：荒川恭次

2月第一例会はグランパスクラブの次年度体制を審議する場でもあったので、少し時期は早いですが情報の先取りとして名古屋YMCAの次年度事業方針について、万福寺さんに説明していただきました。

2016年度は中期基本方針の初年度として方針を具現化するためのリサーチが開始され、次年度からの取り組みについて次の概要が説明されました。

1. YMCAのブランディングとミッションの明確化
・新しいYMCAの統一マークが6月に発表
2. 「子ども」「家族」の居場所の創生チャレンジ
・本館で学童を始めた。来期学童キャンプは3期
3. 青少年のこころと身体を育む活動を大切に継続
・日和田キャンプ場の道路整備。根の上の縮小
4. グローバルな視点を持つ青少年を育む
・日本語学校を2018年4月開校を目指す。
5. 高齢者が安心して暮らせる社会実現のため取り組み
・第一歩として社会福祉法人の保育園の設立
6. ボランティアの人々と共に社会の課題に向かう
・学童キャンプの開催をワイズが支援

7. スタッフ研修の充実と強化

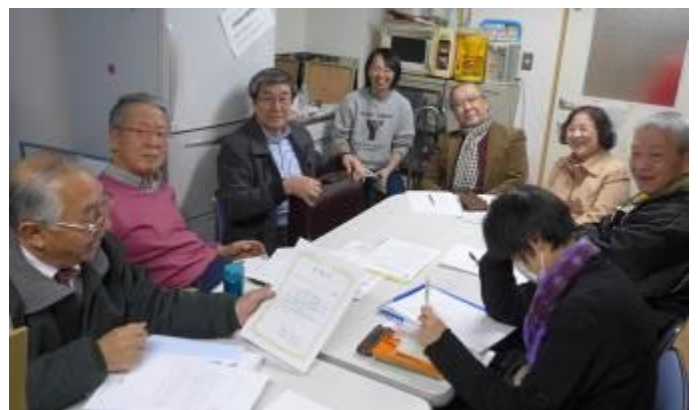
以上の名古屋YMCA方針は、我々グランパスクラブの活動に関わってきますので、今後は上辺の支援だけではなく、深く入り込んだ協働となるような取り組みに発展させる必要があると思います。

第1例会 議事録

(第2例会議事録と重複分は省略)

1. ピンクシャツデー
2月22日(水)
ピンク色の物を身に着け、いじめ反対のアピール 写真を撮ってYMCAへ送る
2. 仲田商店街夏祭りに参加
7月29日(土)～30日(日) 予定
商店街へ申込み依頼(中村総主事、青木君)
3. 次期クラブ役員の選出
下村次期会長より提案され承認された。
2017-2018 グランパス体制
会長：下村、副会長：荒川、書記：早川
会計：服部、直前会長：早川、監査：早川
Yサ・ユース：高田、坂口
地域奉仕・環境：三井、青木
EMC：阿部、松原
ファンド・国際交流：吉田、服部、信田
広報・ブリテン：荒川、吉田、坂野
メール委員：三井
連絡主事：遠藤

第二例会レポート



日時：2017年1月24日(火) 19:00～
場所：南山YMCA
出席：青木、荒川、遠藤、下村、早川、服部、三井、
吉田、服部メネ

議 事

1. 3. 11チャリティーウォーク「杉原千畝・人道の道」
3月11日 10:00 地下鉄「東別院」集合
中区平和小学校～瑞陵高校

同日午後から栄広場にて東日本大震災追悼行事あり

2. 3月第1例会 (ドライバー 高田君)
南山クラブと合同例会
3月14日(火) 19:00～ 南山 YMCA
卓 話:「小学生の子供たちの困難さ」
講 師:岡崎 勝 氏 (名古屋市植田東小学校非常勤教員)
食事あり
3. YMCA リーダー感謝会 (リーダー卒業式)
3月20日(月祝) 16:00～ 南山 YMCA
参加費3000円(一般)
食事サービス支援します。準備集合10時
4. 神沢保育園コンサート
「みんなで楽しむクラシック名曲コンサート」
4月1日(土) 13:30 開場、14:00 開演
神沢ファミリーYMCA 3F ホール
グランパス、南山クラブが後援、支援します
5. YMCA へのプログラム予算
次年度より神沢 Y、南山 Y コンサート支援を予算化する
6. 東北支援ツアー (ドライバー 阿部君)
4月8～10日
石巻広域クラブとの交流あり
現在17名参加申し込みあり
7. リーダー研修会 日和田キャンプ場
5月3日～5日
グランパス支援 5月3日～4日 名鉄ロッジ予約する
8. 西日本区大会 熊本
6月10日～11日
参加予定者; 下村、早川2、荒川2、服部2、青木?

東西日本区ワイズ交流会



日時: 2017年2月4日(土)～5日(日)
場所: 日本YMCA同盟東山荘

第2回 東西日本区ワイズ交流会に参加して思う

吉田一誠

2月4日、5日に御殿場のYMCA東山荘で、第2回東西日本区交流会がおよそ開かれ、日本各地のワイズ他台湾からのゲストも加えおよそ400名が集まりました。

ワイズ日本区が東西に分かれたのは20年前のことですが、東西に分かれる前の、最後の日本区大会(第50回)が開かれたのは名古屋でした。その時のホストクラブは設立後5年の我がグランパスで、ご縁をいただいて私はその時、日本区としては最後になる第42代日本区理事を拝命、愛知芸術文化センターの大ホールで華やかに行われた式典はわたしにとって人生の中でも忘れがたい思い出です。

日本区が東西に分かれて10年目に第一回交流会が開かれ、今回は2回目、20年ぶりということになります。個人的なつながりは別れてからもありましたが、第一回に参加できなかった私にとっては、まさに20年ぶりということで懐かしい方々にお目にかかることができました。



DBCとつかクラブ加藤さんと再会を祝う

私が日本区理事をさせていただいたときは55歳でしたが、当時は若手といわれておりました。その当時ワイズの中心を担っておられた方々は60歳～70歳代の方々でしたので、残念ながらお世話になった方々にはあまりお目にかかることができず、正直集まれた今のメンバーのかたにはあまり顔なじみがなく、改めて20年という月日の流れをしみじみと感じました。



東西歴代理事の面々

今年は東海ワイズ50周年記念の年です。私は東海クラブができるときにお誘いを受けてワイズになり

ましたので私のワイズ生活も 50 年ということになります。グランパスは設立以来今年で 25 年、当時私はサラリーマン生活の最終章の始まりともいべき 50 歳でしたが今や 75 歳人生の節目？の年となりました。思えば Y M C A とワイズにかかわり続けることができたおかげで今の自分があるということに感謝しております。



宿泊部屋の窓から見た笠富士

東山荘では紅富士（朝日に山頂の雪が紅色に映える富士）傘雲（天気の変り目にできる傘のような雲）等を見ることができ、改めて富士山の美しさが心にしみました。私にとって節目の年に開かれた交流会で刻々と変化する富士山を見ることができ、人生の最終章！ともいべきこれからを考える機会ともなりました。

個人的な思いばかりで交流会の報告とはならず、すみません。



富士山星空ツアーに参加して

荒川恭次

私は東西交流会には1日早く参加しました。前夜差に参加するのが目的ではありません。仕事を午後半休として車で走れば、新東名高速道路経由で約3時間で御殿場着。休憩を入れても4時には東山荘に着くことができゆっくり休養が出来る。との企みでしたが、予定通り現地に到着し登録を行ったところ、オプションプログラムに「富士山星空ツアー」があるのを発見しました。事前予約ではないがOKとのことで即予約しました。散歩のようなものとその時は軽く思っていました……。

前泊の西日本区の間との夕食の後、とりあえず持参したトレッキングシューズに履き替え、オーバーか

思いながらもニットスキー帽子、手袋、ネックウォーマーとダウンジャケットを着て集合場に所き、20名程の参加者と登山ガイドさんの事前説明を聞いてバスにて現地へスタートしました。



ところが、市街地を抜けバスはどんどん登るではありませんか。約1時間の行程で外気温は下がり続け真っ暗な目的地では気温マイナス5度です。しかも足元は雪。冬山だ！。各自懐中電灯を渡され足元を照らしながら登り始めました。オーバー装備ではなくベストマッチでした。旧登山道を上ること約30分。道中ガイドさんによる獣の足跡解説とか木に彫られた落書きの説明にワイワイと楽しく登りました。

折り返し地点にて熱いココアが配られ倒木に腰を降ろしてふと見上げれば、そこには満天の星空がありました。森の中から観る星空は格別なものでした。単独では絶対に行けない冬の富士山夜間トレッキングは初めての貴重な体験でした。翌日からの濃厚なプログラムの前に頭をスッキリさせることができました。

残念ですが満天の星空写真は撮影できませんでした。機会あればそれなりの装備で再挑戦したいものです。



ピンクシャツデー

いじめのない世界をめざそう

ピンクシャツデー運動

三井秀和

いじめのない社会をめざして全国の YMCA が昨年より世界的いじめ反対運動「ピンクシャツデー」に

取りくんでいます。今年のピンクシャツデー週間は2月16日から22日(水)でした。賛同していただける人がピンクの服や物を身につけ、いじめについて考え、「ピンクシャツデー」はいじめられている人々と連帯し行動で意思表示をする『いじめ反対運動』の大切な日です。特に昨今、原発事故の影響で福島県から避難してきた児童生徒がいじめを受けして不登校となったり、転校しなければならない状況になったり、さらに子供が学校のいじめが原因で自ら命を落とすまで追い詰められた悲しいニュースが続いています。



一言で無くすべき「いじめ」を語ることはすことは非常にむづかしいですが人は優越感を感じさらに人を差別するきは自分の劣等感を埋めようとする時またその差別意識自体である優劣が存在していることが今の社会全般の「いじめ」につながっていると思います。本来、すべての人々は公平で平等であるべきと思います。

ピンクを身につける事は日常でその「いじめ」を無くしたいとする意志を示しやすい方法としては誰でもがすぐにでも出来る事とおもいます。今後も日本で本格的に YMCA が始めたこの運動が対外的にもピンクシャツデー運動として広がり、根付くことで少しでも「いじめ」がなくなればと思います。今後もワイズ活動の一環としてサポートしていきたいと思います。

YMCAたより

遠藤恵美子

2月に行われたピンクシャツデーにご協力いただきありがとうございます。

ピンクシャツデー当日に南山YMCAで起こった出来事を紹介したいと思います。

ピンクシャツデー当日の下校の時間。

10名くらいらの小学生がYMCAにやってきました。

「女の子が転んで手から血が出てる！」

「だけど、誰かのお母さんが一緒にいるからは大丈夫かもしれないけど！」

と、いう報告でした。

小学生たちは、転んだ女の子よりも先回りしてYMCAに報告をしにきてくれたのです。

怪我をした女の子がYMCAに着くと、彼らは「もう大丈夫だから帰ろう～」と、みんな帰って行きました。

怪我をした女の子に付き添ってくれていたのは、幼稚園児のお母さん。

泣いていたのを見てYMCAまで連れてきてくれました。

女の子の怪我は運良くすり傷程度で、バンソーコーを貼ったら涙もなくなり、笑顔も出始めました。

そのお母さんは手当が終わりランドセルを背負うまで見守ってくれました。

靴を履いて外に出ると、お友だちが心配そうに待っていていました。

そのお友だちは、お家の人に怪我をしたことを伝えるに行ってくれていました。

怪我をした女の子は、待っていてくれたお友だちと一緒に帰って行きました。

もちろん、付き添ってくれたお母さんも一緒に見送ってくれました。

怪我をしたお友だちをみつけて助けを求めて行動したこと、

泣いている子どもに声をかけて連れてきてくれたこと、

お家の人心配していると思ってお家に伝えるに行ってくれたこと、

傍観者にならず、勇気を出して行動してくれた、みんなの優しさに感動でした。

2月の時期だけでなく、毎日の活動中で平和な世界への小さな積み重ねを意識していきたいと思いました。



3回目のなるちゃん会



熊本から参加の米村ファミリーと、宝塚の石田さん

下村 明子

悲しいお知らせを受けたあの日からもう4年。今年も故成瀬晃三西日本区理事を偲ぶ「なるちゃん会」を名古屋で開催しました。「なるちゃん会」は「チーム成瀬」として一緒に活動してきた当時の西日本区役員の有志で構成され、「行きます！」と声をあげて名古屋へ集まるのがルール、金曜日晚は親睦を深める食事会、翌日土曜日はお墓参りをし、ひつまぶしを食べ、エクスカーションで観光スポットをひとつ回るのが恒例のスタイル。今年は大人10名子ども2名、遠くは熊本からの参加があり、懐かしい顔に出会えて嬉しいひと時でした。



わがクラブからは荒川さんと私が毎年参加、今年は2月24日、25日の二日間だったので、ご逝去の2月25日にちょうどお墓参りをすることができました。「なるちゃん」といえば、「強烈な雨男」、昨年は雨で寒かったのですが、なるちゃんはパワーダウンしたのか、それともかわいい子どもたちが熊本から来たので晴れにしてくれたのか、今年はぽかぽか陽気。お墓参り後のエクスカーションは雨が降っても予定変更しなくて済む「トヨタ博物館」にしたのですが、室内にいるのがもったいないくらいの晴天でした。楽しい時間はすぐに過ぎ、別れの時はいつも寂しいものですが、6月の西日本区大会（熊本）での再会を約束し、解散しました。

そ の 他

1. 今月の誕生日

happy birthday
服部 智子（11日）
吉田 久美子（16日）
congratulation!

2. 例会等出席状況

No.	氏 名	2 / 14 第一例会	2 / 24 第二例会	2 / 4 5 東西交流会	
1	青木 哲史		○		
2	阿部 一雄	○			
3	荒川 恭次	○	○	○	
4	遠藤恵美子	○	○		
5	坂口 功祐	○			
6	信田伊知郎				
7	下村 明子	○	○		
8	高田 士嗣	○			
9	服部 庄三	○	○		
10	早川 政人	○	○		
11	坂野 清治	○			
12	松原 誠				
13	三井 秀和	○	○		
14	吉田 一誠	○	○	○	
	計	11	8	2	

